

…教育支援センターより水谷所長補佐、地域連携コ平松伸子様2名、学校教育課より他3名(増田、森山、…)

## 1 学校運営協議会 (9:00~9:45)

(1) 校長あいさつ

(2) 委員の委嘱(水谷教育支援センター所長補佐より代表:浅野峰乙委員長へ)

(3) 会長, 副会長の選出 (会長:浅野 峰乙 自治会長 副会長:平松 俊英 校長)

会長よりあいさつ

・小学校と自治会がどうかかわっていったらよいか考えたい。実りある会にしたい。

(4) 市教委より、学校構想推進協議会について説明(別紙)

(5) 令和8年度の学校経営の全体構想・学校評価計画について : 校長より説明

・幼保小連携推進モデル校である。朝の遊びの時間、弾力的な時間割などにより、1年生も順調な滑り出し。学校探検では、自分で見て回りたい場所を選択・決定して個々で活動。校長室にも自由に入室する児童がいた。

・R7年度は図書館教育・優秀賞⇒R8年度は最優秀賞を目指している。

・人権教育 キャラクターはなえちゃんを上手に生かしながら行っている。

・児童の人数は令和10年度まではなんとか維持。11年度以降は減っていく。

・社会性⇒仲間を大切にすることを中心に育てていきたい。素直で一生懸命に活動する堀津の子たちだが、新しいことに取り組むことに弱さを感じられる

・地域の支えを借りながら、伝え合うことを中心にした学びに力を入れたい。選択決定の機会を意図的につくる。居場所づくりや絆づくりをしていきたい。

・校長から子どもたちへは、好きなこと得意なことを見付け、それを続けること、自分も友達や仲間も大切にすること、自分からあいさつをすること、を伝え続けている。

・職員は少ない中で支え合っている。30代が多く、20代、40代は少ない。市外から通勤している職員が多い。

・子どもたちは羽島だけでなく県や国へ出て活躍していく。10年後、20年後、たくましく生きていけるようにしていきたい。昔ながらのやり方だけでは育てられない。基礎基本を大切にしながら、iPad活用など新しい学力の向上に向けて、今の時代に対応していける児童を育てていきたい。

(6) 具体的な活動について確認

<サポート部会> <ハートフル部会> の2部会で進める。

保護者にもボランティアを募り、児童の活動をさまざまところで支えていただく予定である。

(7) 意見・感想交流(一部抜粋)

・今年度は漢字検定はどうするのか ⇒ 学校では行わない。学校は会場としても使わない。

→漢字検定を行わないことを子どもたちや中島中や中島小にも伝えてほしい。

・全国学テで「地域や社会をよくするために活動している」が平均より低い。地域は学校から何を求められているのか。 ⇒学校で育てる部分、地域で育てる部分、住みわけがある。重なっている部分も

ある。地域の中で活躍できるとよい。学校は、町民運動会、地域清掃など紹介していく。

(8) 校長あいさつ

## 2 授業参観（9：45～10：05）

自由参観。感想用紙配付。

- ・1年生の児童を注意深く見させていただいた。入学から間もないが、先生の話聞いて机に向かう姿から「小学生になったという自覚」を感じ取ることができた。（堀津保育園長：渡辺様より）